

熊本県審判講習会質問事項

H30.11.18 於：菊陽町中央公民館

下記項目について、全日本アーチェリー連盟の津田競技部長から回答がありましたので報告します。

1. CP50mラウンドの標的の設置について、3人立ちの場合は競技規則図17（P92）にあるように、三角に配置しなければならないのでしょうか。バットレスの大きさの関係から、横一列に3枚配置してはならないのでしょうか。

競技規則には、第124条3項(2)およびターゲットアーチェリー・付則2の図16と17に貼り方の説明があります。規則によると3枚貼る場合は上下2段に三角に貼る、4枚の場合は上下2段に四角に貼るよう指示しています。

基本的にはこのように張ることになります。

但し、バットの大きさが十分あり、その種別の全競技者が同一条件で行射できるなら、大会規定や申し合わせ事項等で説明した上でローカルルールとして対応することはできると思います。

2. オリンピックラウンドにおいて、誤って早く入った選手が1mライン内に戻る場合、つがえた矢は必ず外して戻らなければならないのでしょうか。

SLから1mLの後方に戻るときには、矢をクイバーに戻さなくても（つがえたままでも）かまいません。当然のことですが、再度SLに入るときには、つがえた矢をいったんクイバーに戻して入り直すことになります。

3. プログラムの関係から一人だけの標的において、2本の跳ね返りの矢が発生した場合、2個の的中孔を得点として認定できるのでしょうか。

同じ競技者の矢が2本跳ね返ったということですね？ 状況から推察すれば2個の印のない的中孔によって、それぞれの矢の得点とすることはできると思います。

4. 競技規則213条の3項の「ただし、主催者は途中敗退した競技者の練習場を準備する必要はない」とあえて記載された目的は何故なのでしょうか。

敗退した競技者が、クールダウンのために行射したがる場合があります。それを防止するためと考えます。

5. ダブル70mラウンドの72射の記録は、全ア連の公認記録として申請の対象となるのでしょうか。又、スターバッジは新たに設けられるのでしょうか。

ダブル70mラウンドの前半72射もしくは後半72射は、全ア連主催大会の申請記録、スターバッジの申請記録もしくは日本記録の対象とするように検討しています。

スターバッジについては、設定するつもりはありません（以前ダブルFITAラウンドがあった時にも、それ用のバッジは別に設定しておりませんでした）。